




凡 例

-  事業実施想定区域
-  風力発電機の設置予定範囲
-  砂防指定地



1:50,000



表 4.3-3(2) 文献その他の資料による動物の重要な種（鳥類）

No.	目名	科名	種名	重要な種の選定基準					主な生息環境
				I	II	III	IV	V	
21	ツル	ツル	マナヅル			VU	Dd		水田、畑、休耕地、湿地、河川など
22			タンチョウ	国特天	国内	VU	Vu		湿地
23			ナベヅル			VU			水田、畑、干潟、河口、森林に囲まれた湿地
24		クイナ	シマクイナ		国内	EN	En		平地の水田や湿地など
25			ヒクイナ			NT	Dd		農耕地、河川沿い、湖沼周辺、泥炭地草原
26	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ			NT	Nt		河川敷、農地内の林、低山帯の幼齢人工林等
27	チドリ	チドリ	ケリ			DD			水田、畑、河原、草地など
28			イカルチドリ				Dd		河原、水田、湖沼の砂地等
29			シロチドリ			VU	Nt		砂浜、干潟等の海岸域、河口域、河川敷等
30		セイタカシギ	セイタカシギ			VU	Nt		河畔
31		シギ	ヤマシギ				N		山地の広葉樹林、村落の林・谷津田、畑や水田等
32			オオジシギ			NT	Nt		耕作地、低層湿原、河辺ヤナギ林、海浜植生、自然草原、河川沿い、幼齢林等
33			オオソリハシシギ			VU	Dd		干潟、砂浜、河口、水田、河川等
34			コシャクシギ			EN	En		海岸近くの草地や農耕地など
35			ホウロクシギ			VU	Vu		海岸近くの水田、湿地など
36			ツルシギ			VU	Vu		水田、湿地、ハス田、河川、河口、干潟など
37			アカアシシギ			VU	Vu		河畔
38			タカブシギ			VU	Vu		湿地、湖、池沼、河川、水田、ハス田
39		ハマシギ			NT	Nt		干潟、河口、汽水域、海岸の砂浜や岩場、水田、湿地、河川、池や沼の泥湿地等	
40	ヘラシギ		国内	CR	Cr		干潟や河口、海岸近くの湖沼		
41	カモメ	ウミネコ				Nt		海岸、港、河口	
42		オオセグロカモメ			NT	Nt		沖合、沿岸、内湾、港、河口等	
43		コアジサシ			VU			海岸、内湾、港、河口、河川、湖沼、池など	
44	ウミスズメ	ウミガラス		国内	CR	Cr		海上や海岸	
45		ケイマフリ			VU	Vu		海域	
46		ウミスズメ			CR	Vu		海域	
47	タカ	ミサゴ	ミサゴ			NT	Nt		海岸、河口、大きな湖沼
48		タカ	ハチクマ			NT	Nt		山地の森林、混交林
49			オジロワシ	国天	国内	VU	Vu		海岸、湖沼、河川、水域の近くの落葉広葉樹林等
50			オオワシ	国天	国内	VU	Vu		海岸、湖沼、河川周辺
51			チュウヒ		国内	EN	En		草原
52			ツミ				Dd		平地から山地の林
53			ハイタカ			NT	Nt		平野部から山地の森林、農耕地、河原等
54			オオタカ			NT	Nt		平地から山地の森林、混交林、落葉広葉樹林等
55			イヌワシ	国天	国内	EN	Dd		森林
56		クマタカ		国内	EN	En		山地の森林	

表 4.3-13(1) 動物の重要な種への影響の予測結果

分類	主な生息環境	種名	影響の予測結果
哺乳類	樹林	ヒメホオヒゲコウモリ、カグヤコウモリ、コヤマコウモリ、ヤマコウモリ、ヒメホリカワコウモリ、ヒメヒナコウモリ、ヒナコウモリ、ニホンウサギコウモリ、コテングコウモリ、テングコウモリ、シマリス（エゾシマリス） (11種)	事業実施想定区域に主な生息環境が存在し、その一部が直接改変されることから、生息環境の変化に伴う影響が生じる可能性があるとして予測する。 また、一時的に事業実施想定区域上空を利用する可能性がある種については、施設の稼働に伴いバットストライクが生じる可能性があるとして予測する。
	市街地等	アブラコウモリ、ヤマコウモリ、ヒメヒナコウモリ、ヒナコウモリ、ニホンウサギコウモリ、コテングコウモリ、テングコウモリ (7種)	事業実施想定区域に主な生息環境が存在するものの、市街地等については直接改変を行わないことから、改変による生息環境の変化に伴う影響はないと予測する。 ただし、一時的に事業実施想定区域上空を利用する可能性がある種については、施設の稼働に伴いバットストライクが生じる可能性があるとして予測する。
鳥類	樹林	エゾライチョウ、ミゾゴイ、ヨタカ、ヤマシギ、ハチクマ、オジロワシ、ツミ、ハイタカ、オオタカ、イヌワシ、クマタカ、オオコノハズク、キンメフクロウ、アオバズク、アカショウビン、ブッポウソウ、コアカゲラ、オオアカゲラ、クマゲラ、ヤイロチョウ、サンショウクイ、チゴモズ、アカモズ、ギンザンマシコ、ノジコ (25種)	事業実施想定区域に主な生息環境が存在し、その一部が直接改変されることから、生息環境の変化に伴う影響が生じる可能性があるとして予測する。 また、一時的に事業実施想定区域上空を利用する可能性がある種については、施設の稼働に伴いバードストライクが生じる可能性があるとして予測する。
	草地、耕作地等	ウズラ、コウノトリ、マナヅル、ナベヅル、シマクイナ、ヒクイナ、ヨタカ、ケリ、ヤマシギ、オオジシギ、コシヤクシギ、チュウヒ、ハイタカ、コアカゲラ、チゴモズ、アカモズ、マキノセンニュウ、ツメナガセキレイ、ホオアカ、シマアオジ、コジュリン (21種)	
	市街地等	オオコノハズク、アオバズク (2種)	事業実施想定区域に主な生息環境が存在するものの、市街地等については直接改変を行わないことから、改変による生息環境の変化に伴う影響はないと予測する。 ただし、一時的に事業実施想定区域上空を利用する可能性がある種については、施設の稼働に伴いバードストライクが生じる可能性があるとして予測する。
	水辺、湿地	ヒンクイ、マガン、シジュウカラガン、オシドリ、トモエガモ、コウノトリ、サンカンゴイ、ヨシゴイ、オオヨシゴイ、ミゾゴイ、チュウサギ、クロツラヘラサギ、タンチョウ、ナベヅル、シマクイナ、ヒクイナ、ケリ、イカルチドリ、シロチドリ、セイタカシギ、ヤマシギ、オオジシギ、オオソリハシシギ、ホウロクシギ、ツルシギ、アカアシシギ、タカブシギ、ハマシギ、ヘラシギ、ミサゴ、オジロワシ、オオワシ、アカショウビン、ヤマセミ、ブッポウソウ、コアカゲラ、マキノセンニュウ、ツメナガセキレイ、ホオアカ、シマアオジ、コジュリン (41種)	事業実施想定区域に主な生息環境が存在するものの、河川等については直接改変を行わないことから、改変による生息環境の変化に伴う影響はないと予測する。一方で、工実施箇所によっては、濁水の流入等による生息環境への一時的な影響が生じる可能性があるとして予測する。 また、一時的に事業実施想定区域上空を利用する可能性がある種については、施設の稼働に伴いバードストライクが生じる可能性があるとして予測する。
	干潟、河口、海岸、海域等	コクガン、ツクシガモ、シノリガモ、オオミズナギドリ、ヒメウ、チシマウガラス、クロツラヘラサギ、ナベヅル、シロチドリ、オオソリハシシギ、ツルシギ、ハマシギ、ヘラシギ、ウミネコ、オオセグロカモメ、コアジサシ、ウミガラス、ケイマフリ、ウミスズメ、ミサゴ、オジロワシ、オオワシ、シロフクロウ、シロハヤブサ、ハヤブサ、アカモズ (26種)	事業実施想定区域に主な生息環境は存在せず、事業の実施による改変はないことから、影響はないと予測する。 ただし、一時的に事業実施想定区域上空を利用する可能性がある種については、施設の稼働に伴いバードストライクが生じる可能性があるとして予測する。

① 重要な種

重要な種に対する予測結果は表 4.3-19 のとおりである。

表 4.3-19 植物の重要な種への影響の予測結果

主な生育環境	種名	影響の予測結果
樹林	ヒメノキシノブ、ヒノキアスナロ、マツブサ、オクエゾサイシン、カタクリ、エビネ、サルメンエビネ、ユウシュンラン、クマガイソウ、イチヨウラン、コイチヨウラン、アリドオシラン、ツレサギソウ、シラスゲ、イトスゲ、エゾムギ、イカリソウ、フクジュソウ、クサボタン、ヤマシャクヤク、マルバマンサク、ヤマネコノメソウ、ナガハシスミレ、キブシ、タチハコベ、ミヤマママコナ、ママコナ、キヨスミウツボ (28種)	事業実施想定区域に主な生育環境が存在し、その一部が改変されることから、生育環境の変化に伴う影響が生じる可能性があると予測する。
草地、耕作地等	ツレサギソウ、エゾムギ、クサボタン、シラネアオイ、オオバタチツボスミレ、イヌコウジュ、ミヤマママコナ、キタノコギリソウ、オナモミ (9種)	
水辺（河川、河畔等）、湿地	ミクリ、ヒメミクリ、ベニバナイチゴ、オオバタチツボスミレ、ワサビ、ノダイオウ、クリンソウ、オオサクラソウ (8種)	事業実施想定区域に主な生育環境が存在するものの、河川等は直接改変を行わないことから、影響はないと予測する。一方で、工事実施箇所によっては、濁水の流入等による生育環境への一時的な影響が生じる可能性があると予測する。
海岸、海域等	ハクサンシャジン、キタノコギリソウ (2種)	事業実施想定区域に主な生育環境は存在せず、本事業の実施による改変はないことから、影響はないと予測する。
その他（岩場等）	ミヤマイワデンダ、ヒメノキシノブ、エゾシモツケ、ハクサンシャジン (4種)	

注：1. 種名及び配列については原則として、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和5年度生物リスト」（国土交通省 河川水辺の国勢調査 HP、閲覧：令和6年2月）に準拠した。

2. 複数の生育環境を利用する種については該当する生育環境すべてに分類した。

② 重要な群落

事業実施想定区域及びその周囲には、特定植物群落の「江差ヒノキアスナロ、アオトドマツ自生地」、植生自然度 10 及び植生自然度 9 の重要な群落が分布している。このうち、事業実施想定区域には、植生自然度 10 に相当するヨシクラス、植生自然度 9 に相当するチシマザサーブナ群団、チシマザサーブナ群集（Ⅳ）、ダケカンバ群落（Ⅳ）、ヒノキアスナロ群落（Ⅳ）、トドマツキタゴヨウ群落、ヤマタイミンガサーサワグルミ群集、ハルニレ群落、ヤナギ高木群落（Ⅳ）、ヤナギ低木群落（Ⅳ）、ヒメヤシャブシートニウツギ群落が分布している。

事業実施想定区域に植生自然度 10 及び植生自然度 9 の重要な群落が存在し、その一部が改変されることから、生育環境の変化に伴う影響が生じる可能性があると予測する。

③ 巨樹・巨木林・天然記念物

文献その他の資料調査においては、巨樹・巨木林及び植物に係る天然記念物は事業実施想定区域に存在していないことから、改変による影響はないと予測する。しかし、巨樹については、調査が行われておらず、把握できていない可能性が考えられる。

3. 評価

(1) 評価手法

予測結果を基に、重大な影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかを評価した。

(2) 評価結果

海岸及び岩場等を主な生育環境とする重要な種については、事業実施想定区域に主な生育環境が存在していないことから、重大な影響はないものと評価する。

河川や水辺等の水域を主な生育環境とする重要な種については、事業実施想定区域に河川や水辺等の水域が存在するものの、直接改変は行わないことから、重大な影響はないものと評価する。一方で、今後検討する工事实施箇所や該当種の生育場所によっては、濁水の流入等による生育環境への一時的な影響が生じる可能性がある。

また、文献その他の資料調査においては、事業実施想定区域で特定植物群落や巨樹・巨木林・天然記念物は確認されていないことから、重大な影響はないものと評価する。ただし、巨樹については、調査が行われておらず、把握できていない可能性が考えられるため、影響が生じる可能性がある。

樹林、草地、耕作地等を主な生育環境とする重要な種については、その一部が改変されることから、生育環境の変化に伴う影響が生じる可能性がある。また、植生自然度 10 及び植生自然度 9 に相当する自然植生が事業実施想定区域に存在していることから、その一部が改変され、生育環境の変化に伴う影響が生じる可能性がある。

今後の環境影響評価手続き及び詳細設計において、事業実施想定区域を可能な限り絞り込み、以下に示す事項に留意することにより、重大な影響の回避又は低減が可能であると評価する。

- ・植物の生育状況及び植物群落の現況を現地調査等により把握し、また、重要な種及び重要な群落への影響の程度を適切に予測し、必要に応じて環境保全措置を検討する。
- ・特に事業実施想定区域の重要な群落については、可能な限り必要最小限の改変にとどめる等、重大な影響を低減するよう検討する。
- ・土地の改変による濁水等の流入が生じないような計画や工法について検討し、生育環境への影響の低減を図る。